



# そこら

第4号

東近江の  
いいとこ  
いいひと  
見つける本

# Ecotourism

エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を人々に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、それらの保全につながっていくことを目指す取り組みのことです。

美しい山、恵み豊かな琵琶湖、そしてそれらを守る人々。東近江市の魅力をみつける小さな旅にでかけてみました。



## 特集：ECOTOURISM

- 2    2    そこらよりちょっと遠くへ①  幻の村『茨川』を訪ねる
- 5    5    そこらよりちょっと遠くへ②  絶景を求めて竜ヶ岳へ
- 9    9    KUMINO  地元の木で作る新しい積み木
- 10  10  知りたい！ホンモロコ
- 12  12  SUP [Stand Up Paddle] に挑戦！
- 14  14  気になる木を探しに行こう
- 16  16  山をデザインする林業者になりたい  松尾扶美さん
- 18  18  秋の摘み草料理
- 20  20  モリイコ！
  
- 22  22  日本ラチーノ学院ってどんな学校？
- 25  25  東近江で世界のごはん紀行 vol.1
- 26  26  源四郎さんにしめ縄作りを教わろう！  野村源四郎さん
- 28  28  中野ヴィレッジハウス
- 30  30  まちの発明王！彦ちゃん先生  富田彦一さん
- 32  32  太郎坊さんに登ってみました！
- 34  34  東近江のことばに触れる
- 36  36  TEAM CHAKKA の着火材
- 37  37  東近江で世界のごはん紀行 vol.2
- 38  38  花結びに魅せられて  田中年子さん
- 40  40  東近江 MAP

そこら  
第4号



〔表紙・表紙裏〕

地域おこし協力隊員・山形蓮さんが主催する、古民家で行われた「味噌作りワークショップ」の様子。かまどで大豆（ミズクグリ）を煮て、麴と塩を混ぜ合わせて、丁寧に豆をつぶして仕込みます。表紙写真は講師で農業に取り組む片山恵美さん。



そこからよりちょっと遠くへ①

# 幻の村 『茨川』 を訪ねる



茨川ってどんなところ？

永源寺地区、君ヶ畑よりさらに先、三重県との県境近く藤原岳を望む山間に、かつて小さな村がありました。『茨川』という名のその集落には、昭和30年頃、炭焼きなど林業を生業とする9戸の家族が暮らしていました。けれど時代の移り変わりとともに、必要とされる燃料は炭からガス、電気へと変わり、仕事を失う人が増えました。そして茨川は昭和40年にはわずか2戸になり、やがて廃村となりました。

幻の小さな村、茨川での暮らしはいつたいどんなものだったのでしょうか？そこに至る道は？

ツアーに参加して、9歳までのこの村で暮らした筒井正さんらにご案内いただき、茨川までの道を辿りました。

ノタノ坂 茨川

つぎ茨川へ！

「茨川へは峠一つ越えて行きます。日ごろ運動をしていて、ある程度登山に慣れている方が対象です。」事前にそう聞いてはいたものの、茨川へ向かう峠道は想像以上に厳しいものでした。

小又谷からノタノ坂を越える片道約2時間のコース。橋のない川を渡り、これは道？と言いたくなるような細い崖を辿り、倒木をまたぎ、ひたすら歩きます。標高約800mとそう高くないものの、登山経験の少ない者にとってはかなりきつく感じられ、息が荒ります。かつて茨川の住民もこの山道を通ったのかと思いきや、日用品の買い出しや炭の出荷は、行き来しやすい治田峠を越えて三重県北勢町方面へ行くことの方が多かったそうです。

茨川が近づくと道は歩きやすくなりました



倒木をひたすらまたぎ……



もうすぐ休憩です



長くつが必要です……



橋がない！

危ないから一人ずつ渡って！



ほっ……

途中こんな岩も……



コケがきれい！



気をつけて！

ガイドはモンベル（アウトドアメーカー）の牧野森さん。サポーターは地域おこし協力隊の藤井悠矢さん、奥永源寺溪流の里の加藤紳一朗さん。

こ、これは道！？



茨川に到着

山を下りると、急に辺りが開け、茶屋川の瀬音が聞こえるとともに、爽やかな風が吹き抜けました。茨川に到着です。

筒井さんに、廃村以前の村の生活についてお話を聞きました。

水道、電気、ガス、井戸がなかった茨川。けれど炭焼きに従事する人々には現金収入があり暮らしは豊かでした。小さな畑はありましたが、食卓にはイタドリやワラビ、フキなど豊かな山の恵みと、清流で穫れる岩魚や鹿肉などがのぼることが多かったそうです。

「みんな不思議に風邪を引かなかったんですよ。悪い菌が入ってこなかったからでしょうね」と語る筒井さん。澄み切った山の空気を胸いっぱい吸い込みながら、なるほどと納得したのです。

そこからちょっと遠くへ②

絶景を求めて竜ヶ岳へ



滋賀と三重の県境を南北に連なる鈴鹿山脈。竜ヶ岳はその真ん中あたりにある標高1099メートルの山で、東近江市が選定した鈴鹿10座のうちの一つです。山頂付近は高木が無く、晴れた日には琵琶湖から伊勢湾まで一望できるとのこと。そんな山頂からの絶景を求めて、11月3日に開催された東近江市エコツーリズム推進協議会の「森と水のエコツアー」に参加しました。

当日は良いお天気。石樽峠に到着するとガイドの牧野さんから山頂の説明がありました。「頂上は曇っていて風も強く、体感では0℃近くになるので、しっかり防寒をしてください」とのこと。「えっ、こんなに晴れているのに0℃!？」と内心ビクビクしながら装備を確認。気を引き締め、いよいよ登山開始!

登山開始!



筒井さんの家

今は名古屋大学ワンダーフォーゲル部の山小屋として貸し出されています。



砂に埋もれる鳥居



茨川分校  
(政所小・中学校茨川分教場)

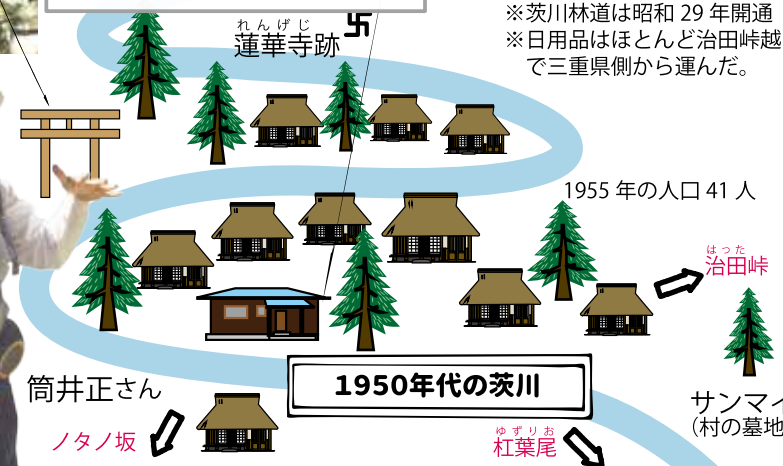
今は八幡工業高校の山岳部が使用。大正時代の生徒数は12～13名、昭和時代は5～6名でした。

茨川と他村を結ぶルート

- 1) 治田峠～三重県新町：山越え 約6キロ(2時間半)
- 2) ノタノ坂～君ヶ畑：山越え 約4キロ(約1時間30分)
- 3) 茨川～紅葉尾：林道 約12キロ(約3時間30分)  
※茨川林道は昭和29年開通  
※日用品はほとんど治田峠越で三重県側から運んだ。



天照神社  
ご祭神は天照大神。昭和36年の火事で一度焼け、その後再建されました。狛犬は三重県北勢町新町から運ばれました。



山頂に到着！  
あいにくの曇り空…



稜線にはたくさんササが生えていました

重ね岩

ホッとする味



尾根伝いに木々の間を一行にな  
って気持ちよく歩いていると、急  
な岩場が目の前に。手を使いなが  
ら懸命に登ります。その後は、立  
ち止まって伊勢湾やセントレア空  
港を探したり、道の片側の崖が風  
化して崩れているところを慎重に  
進んだり、気軽なハイキングと  
は違う醍醐味を感じながら歩きま  
す。「あれが雨乞岳、手前にある  
のが釈迦ヶ岳。ずっと行くと千草  
街道の方まで行けるよ」とサポ  
ーターの加藤さん。「鈴鹿の山には  
それぞれ特徴がある。深い谷、複  
雑な尾根、入り組んだ沢。ずっと  
永源寺に住んでいて、小さな頃は  
あまり意識してなかったけど、仕  
事柄鈴鹿の山に登ることがあつ  
て、『地元こんな山があるんか』  
と感動した。これからは、若い人  
と一緒にその魅力を伝えて、道の  
駅を鈴鹿10座の拠点にしていきた

い」と鈴鹿の山々への想いも語つ  
てくださいました。  
気が付くと、高い木が少なくな  
り、視界が広がった！と思ってい  
ると、徐々に風が強くなり、帽子  
を押さえる手にも力が入ります。  
そのうちに「重ね岩」に到着。し  
かし、次第に雲行きも怪しくなり、  
風と砂埃が目が開けられないほど  
に。休憩もそこそこに再出発。「こ  
こからは急な坂が続きます。その  
あとは稜線に出ますが、風がと  
てもきついので気を付けてくださ  
い」と牧野さん。まだきつくなる  
の？と不安になりながら急な坂を  
登ると、やがてササに覆われた稜  
線にたどり着きます。すると今度  
は、風と一緒に雨まで！みんなで  
雨具を着てしのぎます。進めば進  
むほど風と雨が更にきつくなり、  
自然の厳しさと雨具の大切さを感じながら山頂を目指します。

山頂に到着！

竜ヶ岳頂上  
1099.6m

山頂は…やっぱり曇り。  
遠くに伊勢湾が見えた時もありました  
が、すぐに雲の中に。東近江側は残念  
ながらまったく見えません。ただ、竜ヶ岳  
山頂の標識は登ってきた証として迎え  
てくれたようで嬉しくなりました。

昼食はササの間で、稜線に隠れて食  
べました。湧水とオリジナルブレンド  
豆で地域おこし協力隊の藤井さんがい  
れてくださったこだわりのコーヒーの  
おいしいこと！冷えた体にじんわり染  
み渡ります。「まあ、こんな登山もあ  
りかな」とホッと一息。

下りは、遠足尾根から三重県の宇賀  
溪キャンプ場を目指します。途中、崖  
のような場所もあり、めげそうに。山  
頂を何度も振り返り、自分を励ましな  
がら進みます。上に比べて緩やかな  
尾根を進むと、木立が増えてきたところ  
には風も止み、歩きやすくなりました。

# KUMINO

地元の木で作る  
新しい積み木



永源寺の箕川<sup>みのかわ</sup>を拠点にして、地元の杉を使った積み木を作っているクミノ工房。代表の井上慎也さんにお話を伺いました。

日本の家屋は、木を組んで建てられているのに、子どもの玩具には、木を組んで遊べるおもちゃがなぜないのだろうと考えたことが積み木製作のきっかけ。そこから建築の技術を学び、研究を重ね「木組み」の技法を応用した積み木「KUMINO」が誕生しました。「木組み」とは木造の建築に用いられる、木に切り込みを入れて組み合わせる建築技法のこと。家屋はもちろん、神社仏閣、お城の建築にも使われています。

「KUMINO」には、絶妙に計算された凹みがあります。この凹みを組み合わせることで、無限の形を作り出すことができます。

## question

東近江のおすすめはどこ？

銚子ヶ口

鈴鹿 10 座のひとつで、山頂から見える 360 度広がるパノラマの景色が美しい。

クミノ工房

東近江市箕川町 107

☎ 050-3567-9323

HP <http://www.kumino.jp/>

※ 4 月頃新しい工房がオープンする予定。  
積み木は HP から  
と電話で注文可能。



と想像していたら、牧野さんから「これからしばらく行くと『すごい』下り坂が続きます。疲れていると思いますが、しっかりと注意しながら歩いてください」と一言。え、今からですか？ここにきて、『すごい』の言葉の重みが体にずっしり。それでも一歩ずつ足を進めます。

そして、その先は本当に急な坂！きつと転がったら止まれません。ハラハラしながら急な九十九折の山道を黙々と歩きます。山道が少し緩やかになってきたところでやっと、舗装された林道が。休憩も含めて 6 時間！ついに竜ヶ岳を制覇しました！疲れとともに達成感が体中に広がります。

牧野さんから最後のご挨拶。

「山のぼりには、装備が一番大切。登山靴と防寒服と雨具は最低限しっかりとしたものを整えてく



すごい下り坂

ださい。山は楽しいところですが、甘くはありません。油断すると遭難することもある。しっかりと準備してのぞみましょう。甘くない、けれどこの達成感を求めてみんな山に登るのではありません。

これから登山を始めた人へのアドバイスを聞くと、「初めての人は普段の運動量によっても異なるので、どんな山から登ればいいのか専門店や経験豊富な方へ事前に相談してみてもいい」とのこと。竜ヶ岳は初心者から中級者向きですが、猪子山や箕作山など、低山で体を慣らしてから登ると良いそうです。ぜひ、チャレンジしてみてください。

お疲れさまでした！



「森と水のエコツアー」スタッフの皆さんで「10座ポーズ」！

## question

東近江のおすすめはどこ？

牧野 森さん  
(モンベル)

延命公園 (太郎坊)

山登りの体力づくりに最適。岩登り(フリークライミング)の練習スポットもあるんですよ。

加藤 紳一朗さん  
(奥永源寺渓流の里)

鈴鹿のイブネ

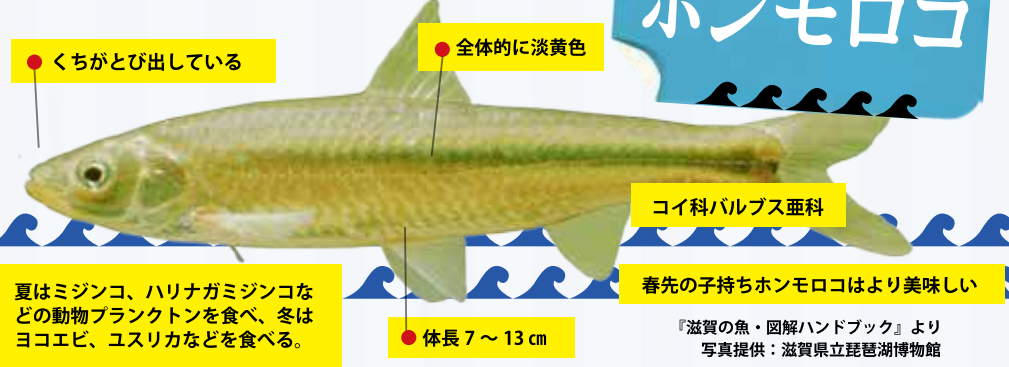
鈴鹿 10 座の一つで、鈴鹿の「雲の平」とも呼ばれているところ。広く平らな頂は、天上の楽園！

琵琶湖には現在約50種

ほどの魚が生息しており、そのうち13種の固有種（琵琶湖にしか生息していない魚）がいます。その固有種の一つ、ホンモロコをご存じですか？昔は手づかみで取れるほどたくさんいたそうですが、今では琵琶湖にいる数も少なくな

り、高級魚になっています。そんな貴重なホンモロコのことを知りたくて、能登川漁業協同組合の伊関さんにお話を伺いました。ホンモロコ漁は春から秋にかけて行われますが、産卵時期を迎えた子持ちのホンモロコがとれる3月から4月が最盛期です。方法としては小糸と呼ばれる細かな糸で作られた約30mの網でとる「刺網漁」が主流です。前日の16時ごろから網をしかけて、翌朝6時ごろ、網をひきあげます。とれる量は年々減っており、大漁の日でも1網で500g〜1kgほどのホンモロコしかとれません。

## 知りたい！ ホンモロコ



『滋賀の魚・図解ハンドブック』より  
写真提供：滋賀県立琵琶湖博物館

数が減った要因のひとつが、内湖が埋め立てられ、ホンモロコの住める環境が減ったこと。そのため平成24年から、能登川漁業協同組合では、4月中旬から5月中旬の産卵時期に禁漁する対策を独自に行いました。その後平成28年からは滋賀県内で一斉に5月から6月までの間、自主禁漁を行っています。その結果4年間で約30%漁獲量が回復しました。

「琵琶湖に注いでいる川は全部で460本。そのうち一級河川は119本。琵琶湖には多くの川が流れこみ、山から湖を育む栄養をもたらしっている。山が手入れをされなくなると、保水力が落ち、水も汚れたり、魚たちのえさとなる栄養素も少なくなることや魚の成長に大きな影響を与えてしまうんや。だからこそ、豊かな琵琶湖の恵みを守るためには、琵琶湖だけやなくて、山も大事なんや」と伊関さん。お話を伺い、東近江市は山と湖の2つの恵みを享受できる豊かな土地だということを改めて感じました。

## ホンモロコを味わおう

さて、ホンモロコは一体どんな味がするのでしょうか？

八日市図書館で開催した講座「琵琶湖を知ろう、食べよう」の参加者に実際にホンモロコを食べてもらいました。

ホットプレートでジュージュー焼いてポン酢で食べると：「おいしい！」と好反応。頭からしつぽまで何匹も食べてくれる子どもたちも。ホンモロコを初めて食べた人も、その食べやすさに驚いているようにした。ホンモロコは、素焼き、醤油煮、南蛮漬けなど、様々な味で楽しめます。



伊関さんからお話を伺いました。

### 南蛮漬けレシピ

#### 材料

|          |              |
|----------|--------------|
| モロコ……20尾 | 三杯酢……2分の1カップ |
| 小麦粉      | だし汁……2分の1カップ |
| 赤唐辛子……2本 | 砂糖……大さじ2     |
| 青葱……2本   | しょうゆ……大さじ2   |
| 揚げ油      |              |



- モロコは塩水でよく洗い、ざるに上げて水分を切る。
- ①に小麦粉をまぶし、余分の粉を払い1〜2分おく。赤唐辛子は種を取り2つに切り、青葱は小口から刻む。
- 揚げ油を165℃〜170℃に熱し、②のモロコを入れ気長くからっと揚げろ。
- 別なべに三杯酢、だし汁を合わせて砂糖、しょうゆを入れ沸騰させ赤唐辛子を入れて③のモロコを加え一煮立ちさせる。
- ④を火からおろしてよく冷まし青葱の小口切りを上からふりかけて、このまま4〜5時間つけて味を含ませる。

（『湖魚料理』滋賀県漁業協同組合連合会）



# サップ SUP (Stand Up Paddle) に挑戦!



サップ  
SUPというスポーツをご存知ですか? SUPとは Stand Up Paddle というハワイ生まれのスポーツのことです。サーフボードに乗り、パドルで水面を漕ぎ進みます。このスポーツが能登川にある、琵琶湖で水上スポーツを体験できるお店『Puka Puka』でできると聞き、早速行ってきました。

11月の中旬、冬の気配が顔を覗かせてきた頃。出迎えてくれたのは代表の白井和男さん。ウインドサーフィン歴30年、SUP歴11年の大ベテランです。始めに説明を少し受けてから、すぐに砂浜へ。到着して15分ほどサーフボードへの乗り方やパドルの漕ぎ方、止まり方などのレクチャーを受けます。そして

いざ琵琶湖へ!!

「や、寒い……」

琵琶湖に足をつけた瞬間に、冷たい水が一気に体温を奪っていき、思わず口にしました。しかし白井さんいわくSUPは、身体全体を使うスポーツなので、ウェットスーツを着ていると冬でも暑いくらいとのこと。パドルで漕ぎ出すと、言われたとおりすぐに身体が温まってきました。

始めは正座のような体勢でサーフボードに乗り、左右にパドルを漕ぎます。想像していた以上にグイグイと水面を進むことができます。座りながらパドルで勢いを静め、止まる方法や方向転換の仕方を学びます。ここまでは比較的簡単なのですが、問題は次のステップです。

慣れてきたタイミングでサーフボードの上に立つのですが、これが中々難しい! 波で水面が揺れる状況で肩幅ほどしかないサーフボードの上に立ち、バランスを取らなければいけないのです。参加していた人は、ほとんど全員このステップで琵琶湖に落ち、ずぶ濡れになりました。

サーフボードの上に立つことに慣れると、あとはパドルを左右に漕ぎ、水面を進むだけです。広い湖面をグイグイと進む感覚は、爽快そのもの! 夢中でパドルを漕いでいると身体も温くなり、全く寒さが気にならないほどでした。

ここまでを振り返ると約2、3時間の練習で、なんとかサーフボードの上に立ち、水面を進む

事ができたことになります。非常に楽しく、SUPというスポーツの人気の秘密がわかりました。

SUPは水辺があればできる取り組みやすいスポーツ。身体を鍛えるためのトレーニングにも適していることから、幅広い年齢層の方が親しんでいます。イベントには50代、60代の参加者も多くみられ、ここ近年競技人口が増えてきているそうです。

「Puka Puka」を始めてよかったことは、SUPを通じて色々な人と知り合え、仲間が増えたこと。これからは子どもたちの指導に力を入れ、若い世代等の競技人口の幅を広げていきたい」と白井さん。

皆さんもぜひ一緒に琵琶湖でプカプカしてみませんか?

## 白井和男さん

SUPと出会ったのは、10年ちょっと前のハワイ。7年前にSUPをメインとしたお店を始める。



## question

東近江のおすすめはどこ?

愛知川 思っている以上に綺麗で波もおだやかで、SUPをするにも最適!!

Puka Puka (BIWAKO ECO SPORTS)

東近江市栗見出家町 781-1

☎ / FAX 050-5802-9050

10:00 ~ 19:00

火曜定休

のとがわ

## 南小のクスノキ

能登川南小学校の校庭にある「クスノキ」。この木は、大正2(1913)年に五峰尋常小学校の教頭先生が植えられた3本の木が、成長と共に1本になった合体木だと言われています。1人よりも3人、みんなで力を合わせることの大切さを子どもたちに伝えているそうです。

① 100 年 ②東近江市猪子町 12 ③ 12 m



あいとう

## 百済寺の菩提樹

百済寺の本堂横にある「千年菩提樹」。実はこの木、天保元(1830)年に織田信長の焼打ちに遭い、幹まで焼損しました。幸いにも熱が根まで至らず、再び蘇って現在に至ります。中央の空洞は、焼打ち当時の幹の直径(80センチ)に相当するそうです。

① 1000 年 ②東近江市百済寺町 323 ③ 13 m



ことう

## 南花沢のハナノキ

この木は聖徳太子が百済寺建立時に、南花沢と北花沢に「仏法が末永く隆盛していくなら、この木も成長していくであろう」と自らの箸を大地にさされたものが大きく育ったと言われています。新芽が芽吹く前に、梅の花に似た深紅色の花をつけることから「花の木」と呼ばれるそうです。

① 1200 年 ②東近江市南花沢町 546 ③ 8 m



①推定樹齢  
②所在地  
③樹高

ひがしおうみの  
気になる木を  
探しに行こう

えいげんじ

まんどころ

## 政所の茶樹

政所町にある「大茶樹」。この木は、樹齢300年を越えていて、今では希少品種となった在来種の茶樹です。政所茶は『宇治は茶処、茶は政所』と、茶摘み唄で詠われる銘茶で、大茶樹は地元の白木駒治さんにより大切に管理されています。

① 300 年 ②東近江市政所町  
③ 2 m



がもう

みょうげんじ

## 妙厳寺のクロマツ

妙厳寺の境内にある「クロマツ」。この木は、元文5(1740)年に本堂と山門の再建記念として、当時の住職が植えたと言われています。クロマツの横には、大きなイチヨウの木もあり、2本の巨木が印象的な境内となっています。

① 270 年 ②東近江市大塚町 880 ③ 9 m



ようかいち

## 昭和町のムクノキ

昭和町地先にある「ムクノキ」。この付近には昔、「東のムクノキ」と「西のムクノキ」という2本の巨木があったそうですが、今はこの西のムクノキだけが残っています。ムクノキとしては県内でも最大級で、少し離れた場所からもその力強い姿を望むことができます。

① 650 年 ②東近江市昭和町 981-2 ③ 21 m



## 山をデザインする林業者になりたい



ふみ  
松尾 扶美さん  
東近江市  
永源寺森林組合

備されていました。「こういう道を作っておけば、整備後も人が入りやすくなります。人が入らなくなった山は、山の力を失ってしまいます」と松尾さん。

一昔前は先人たちが木を伐り出し、季節ごとの山の恵みもいただきました。しかし生活スタイルが変わる中で、山と人の距離は次第に離れていきました。人の手が入らなくなった山は、荒れて木が密生し、光がささなくなった土壌は脆弱なものになり、山の恵みが育たなくなります。そうすると、山に餌がなくなった動物たちが人里におりて、畑を荒らすようになります。山の力をもう一度取り戻すためにも、どんな山にしたいのかを考えることが重要だと松尾さんは話します。「山をデザインするこ

### question

東近江のおすすめはどこ？

図書館 静かで心地がいい空間で、本を開くと自分のいるところから世界が広がるようにわくわくします。

東近江市永源寺森林組合  
東近江市山上町 3544  
☎ 0748-27-0034  
平日 8:00 ~ 17:30

とが大切。私達がしている仕事は、単に木を伐り出すだけではなく、次世代に本当に大切な価値を残す仕事だと思っています」と力強く話してくださいました。「それに私の居場所は、ここにあると思っています。山に入れば私らしくいられる。林業を続けていきたいです」。

山が好きだということ、そして自分の仕事に誇りをもてること。凜としたたたずまいで話す松尾さんの姿を見て、「事を成し遂げる」という仕事の本来の意味を感じました。

秋晴れの日、五個荘の里山で、ヒノキ林の整備をしている松尾さんを訪ねました。松尾さんは、永源寺森林組合に勤めて2年になります。永源寺森林組合は、東近江の山に入り、材となる木を伐り出し市場等で販売し、面積に応じて補助金を受け、その資金で山の整備をおこなっています。松尾さんは、優しい雰囲気の小柄な女性ですが、24キロにもなるチェーンソーを自由自在に操りながら、木を伐り出す姿はとても頼もしく、働く後ろ姿には職人の雰囲気漂っています。

取材の当日は、前日の雨の影響で土が濡れ、滑りやすくなっており、長靴が必須の道のりでした。山の中腹までは、山が崩れにくい地形を選んで、木を伐り出して運び出すための作業道がきちんと整

# 秋の摘み草料理

これらの草を食べてみました

私たちが普段何気なく歩いている道端にも、とっておきの美味しい食材が潜んでいるって、ご存知でしたか？美味しい食材、それは『草』です。

野草に詳しい堤信二さんにご案内いただき、足下の宝物を探しに、永源寺地区の池之脇町の野道を歩いてみました。すると、ありました、ありました。ミツバ、ムカゴ、ノビル、カキドオシ、そしてアケビ。少し歩けば次から次へと食べられる野草が見つかります。

絶品！



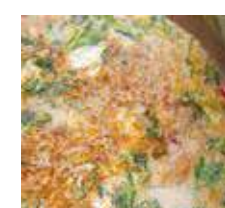
サラダ（タンポポ、アカツメクサ、ゆず等）



ムカゴの炊き込みご飯



さんまとノビルの朴葉包み焼き



ミツバの卵とじ



ハーブティー（ミント、レモングラス）



タンポポの根と蓮根のきんぴら



てんぷら（タラ、カキドオシ、オオバコ、柿の葉、ノビル等）



タンポポの葉のベーコン巻き

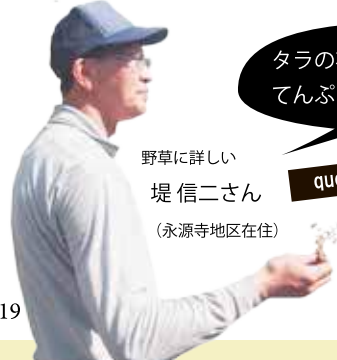
カラスザンショウ→



「それはカラスザンショウ。食べられへんけど、実は山椒の匂いがあるやろ？枝はスリコギにするんや」「タラとうるしは葉の形で見分ける」堤さんに草木についてお話を伺いながら、夢中で葉や実を採り、草を摘みました。

採って来た食材を、早速調理します。メインは朴葉に包んで味噌で味付けしたサンマ。ムカゴはご飯と一緒に炊き込んで、タンポポの根はきんぴらに、葉はサラダに。柿の葉もてんぷらにすると、なんともいい香り！デザートは甘いアケビの実で、食後はハーブティーで一服。目にも美しくて美味しい、大満足の豪華な食卓となりました。

「本に食べられるって書いてあっても、人によっては体に合わずダメなものもある。ちゃんとした知識がないとな」と堤さん。これからは道端の草を見る目も変わりそうです。



タラの花は薄く衣をつけててんぷらにするときれいで。

question

東近江の  
おすすめはどこ？

竜ヶ岳 登山初心者にも  
おすすめの山。

注意！

野草の中には食中毒をひきおこすものがあります。採取・調理するときには十分注意して、詳しい方や専門家にお訊ねください。



カキドオシ

葉をてんぷらに



アケビ

美味しいデザート



茶  
野生のもの

葉をてんぷらに



ヨモギ

サラダ、おひたしなど



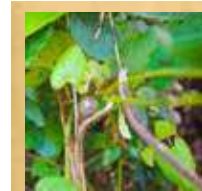
フキ

てんぷらなど



ミツバ

卵とじなど



ムカゴ

ご飯に炊き込みます



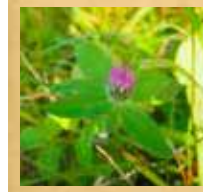
ガマズミ

お酒にします



タンポポ

葉はサラダ、  
根はきんぴらに



アカツメクサ

花をサラダに



フユイチゴ

食べると甘酸っぱい！



ノビル

酢みそ和えなど



ある日の  
プログラム

- 9:00 森を歩いて四季折々の自然を楽しみ、  
ミッションを探す
- 10:00 ミッション1  
マッチを使つての火おこし
- 12:00 昼食 この日はお弁当持参
- 13:00 ミッション2  
地図を頼りに探検してみよう  
竹ぐしづくり・チームで火おこし  
たき火で焼いたおやつを試食  
カブト虫の幼虫探し などなど
- 16:00 お迎え 解散

※ミッション…季節に応じて、子どもたちが  
チャレンジするもの



モリ  
イコ!

河辺いきものの森の活動は、NPO  
法人遊林会と東近江市との協働の取  
組みとして平成13年に始まりました。  
鈴鹿の森と琵琶湖をつなぐ愛知川沿  
い、多様ないきものが生息する大切な  
河辺の森。その河辺の森を舞台にした  
取組みが『モリイコ!』です!

モリイコ!は、4歳から小学3年生  
までの子どもたちが様々なプログラム  
を通じて自然に親しむ事業で、申込倍  
率が5倍になるほど人気があります。

東近江市は自然にめぐまれた地域で  
すが、この数十年で森林や川・湖・池  
などと暮らしとのつながりは、薄くな  
ってしまいました。そんな時代だから  
こそ、森を守ることと自然と人とのつ  
ながりや、森とともに生きるいきもの  
を知り、それを子どもたちにも理解で  
きる言葉で伝える通訳者としての遊林  
会の取組みが注目されているのです。

モリイコ!では子どもと自然をつな  
ぐことができる大人がいる中で、年齢  
の違う子どもたち同士が、教わり、教  
え合いながら様々なミッションに協力  
して挑戦しています。四季の自然の変  
化をカラダで感じながら重ねる経験  
は、子どもたちにとって大きな力にな  
ることでしょう。森の中で、未来を築  
く大切な宝が育っています。

WHAT'S 遊林会!?

1998年に活動を開始した里山保全団体です。人と  
自然との結びつきを取り戻し、育むために里山の  
保全活動を開始しました。ふるさとの豊かな自然  
を、未来の子どもたちに贈り、その自然の魅力を  
伝える活動を継続して取り組んでいます。

特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会  
遊林会事務局  
東近江市建部北町 531  
(河辺いきものの森 ネイチャーセンター)  
☎ 0748-20-5211

給食はおいしくて栄養満点のブラジル料理！



給食は、校内の調理室で作られていて、自分の欲しい分だけ盛りつけます。

学院の中はたのしい飾りつけでいっぱい！



季節ごとに教室や廊下の飾りを変えています。

色んな年齢の子どもたちが学んでいます



中学3年生

サリナさんのある一日

8:40 登校

滋賀県内から約130名がスクールバスで登校しています。



8:50 朝食

遠方から早朝に通学する生徒のために、朝食が準備されています。



9:00 1限目

ポルトガル語

9:45 2限目

数学

10:30 ~ 10:50 休憩

10:50 3限目

体育

11:35 4限目

体育



12:20 ~ 13:10

昼食&昼休み



13:10 5限目

化学

13:55 6限目

地理

15:00 下校

サリナさんはこんな女の子

甲賀市からラチーノ学院に通う中学3年生。2人姉妹の長女で、笑顔がかわいい15歳。

COLEGIO LATINO DE JAPAO

教えて！日本ラチーノ学院ってどんな学校？



Ola!



東近江市甲津畑町に南米の子どもたちが仲良く元気に学ぶ学校『日本ラチーノ学院』があります。2015年1月から甲津畑小学校跡地へ移転し、幼児から高校生まで、幅広い年齢の子どもたちが同じ校舎で学んでいます。「ラチーノ」とは「南米の」という意味。ブラジル人だけでなく、ペルーやアルゼンチンなど南米の国の子どもたちも約130名が通学しています。

日本ラチーノ学院の生徒たちはとても早起き。1限目の始まりは9時からですが、県内各地から通学するため、遠いところから通う生徒たちのためにスクールバスは朝5時半に学校を出発して迎えにいきます。そのため、生徒のほとんどは到着後すぐに学校で朝食をとります。

授業はブラジルの教科書によって進められますが、幼児のときから日本語の授業に力を入れています。それは、「子どもたちの可能性を広げるため」。日本ラチーノ学院を卒業後、ブラジルに帰って大学に進学、就職する生徒、日本に残る生徒など様々な道を歩む子どもたちもいます。そのためどんな道に進んでも困らないようにポルトガル語と日本語の両方を話せるように授業が組まれています。子どもたちの語学学習スピードは早く、ポルトガル語しか話せないお母さんの役に立っている子もいます。取材の日も「こんにちは」と少しドキドキしながら話しかけると、「こんにちは！」と笑顔で返事してくれて、とても嬉しかったです。

タイ

古民家タイ食堂

ラムちゃん

タイのラーメンとも言える、  
米の麺料理「フォー」。

## question

東近江のおすすめはどこ？

8年庵 古いものが好きで、色々  
見られるのがいいです。夏の庭先には、ハワイヤの木が涼  
しげに繁っています。店名の「ラ  
ムちゃん」は自らの愛称から。

古民家タイ食堂 ラムちゃん  
東近江市五個荘山本町166  
☎090-5651-6016  
11:30~14:00  
水・金曜定休

PASTELARIA

シ・クロカンテ ブラジル



サクサクのチーズパイ(大)

シ・クロカンテ  
CKROCANTE

東近江市八日市野々宮町  
3-14  
☎0748-43-1630  
12:00~19:00 火~金  
10:00~22:00 土  
10:00~21:00 日  
(日によって変動あり)  
月曜定休

ガラナジュースはブラジルでは  
ポピュラーな飲み物。

## question

東近江のおすすめはどこ？

西友 日本のアイスクリーム  
はおいしい！

学校の中を歩いていて感じたことは、人と人との心の距離がとても近いということ。授業の間の短い休み時間も、子どもたちは体育館で元気良く走り回っていました。よくみると、高学年の子が幼児の面倒をみています。「この学校の生徒たちは、みんなが家族のよう。だから自然と上の子が下の子をみる。もちろん仲間はずれにすることもなく、年齢に関係なく深い絆があるんです」と先生。生徒と先生の距離も近い。授業の内容が分からない子にもしっかりと理解できるまで真剣に向き合い、徹底的に教えるため、生徒も熱心に授業を聞き、分からないことは進んで質問します。休み時間も生徒と先生が談笑している姿をよく見かけました。

そして、何より驚いたのは「はじめまして」の人にも心の距離が近いということ。子どもたちは本当に元気がいっぱい！カメラを向ければみんな笑顔で自然にポーズ。地域の方との交流も深く、地域のイベントで子どもたちがダンスを披露したり、もちつき大会に参加することも。バスが集落を通ると、お年寄りの方も手をふってくれます。ラチーノ学院が甲津畑に來たことで、高齢化の進んだこの地域に子どもたちの笑い声が響くようになりました。日本とブラジルの距離は遠いですが、ラチーノ学院には日本とブラジルを近づける橋渡しをしてくれる子どもたちがたくさんいます。人種や世代を越えて、東近江市で新たな絆が芽生えています。

## カミムラ・カイオ校長

サッカーが大好きな校長先生。元日本代表のラモス選手と一緒にプレイしていたそう。「子どもたちにも勉強とスポーツを両立できる環境を整えてあげたい。ラチーノ学院は、年齢問わず仲が良く、大きい子どもたちが小さな子に優しく接しており、そうした様子を見るのがとても嬉しい」と話されていました。



日本ラチーノ学院  
東近江市甲津畑町 1220-2  
☎ 0748-56-1157

## question

東近江のおすすめはどこ？

奥永源寺 河原でバーベキュー  
するのが好き。

## 教科書

教科書はすべてブラジル本国で使われているものと同じで、日本のように科目ごとに分かれているのではなく、1冊の教科書に1学期分の全教科の内容が盛り込まれています。

源四郎さんに

しめ縄作りを

教わろう！

お正月の準備のひとつであるしめ縄。正月飾りの形は様々で、地域によって形状なども異なります。今回、わら細工名人の野村源四郎さんに、正月飾りのしめ縄作りについて聞いてきました！

「設計図や説明書もなんにもない。頭でこうなるかなあて考えてただ作ってるだけなんや。」そうお話くださったのは湖東地区にお住まいの野村源四郎さん。

野村さんは昭和2年生まれ。「小さい頃、わらは暮らしの中でいろんなものに使ってきたんや。お風呂を沸かす燃料として、屋根の材料としてやら何でもな」。戦後は米の検査員として働いたり、家で米作りを行ったりとわらに触れる機会も多かった野村さん。米俵が紙袋に変わることでわらが不要になり、50歳のときにわらで何かできないかと農閑期にしめ縄作りを開始。平成元年には湖東地域の

農産物販売所「味咲館」から「田舎らしいものが欲しい」と、依頼を受けてわら細工作りをはじめられました。

「これは美術工芸品やない。買ってもらえる手頃なものやないとかかん」という思いで作っておられます。

今では、しめ縄だけでなく、干支のわら細工も大人気。接着剤を使用せず、わらを結んで作られた平成29年の干支のにわとりも、とても愛嬌があります。「1200年続いたわらの文化も、今ではもうしめ縄だけ」。さみしいことやけど、まあ、できる限り続けていきたいなあ。野村さんの笑顔がとてもまぶしかったです！

## 【しめ縄の作り方】



1 わらを3つに分ける



2 芯にまきつけていく



3 必ず左巻き



4 粗い部分ははさみでカット



5 はさみで長さを調整する



6 太い方（株元）を細い縄で3回しばる



7 太い方（株元）を細い縄で3回しばる



8 はみ出た短いわらはバーナーで焼く



9 裏白の葉をつける



10 ごへい（紙）をつけていく



11 橙をつける



12 野村さんオリジナルのわらで作った海老をつけて完成！

裏白＝裏がやなく、心か明白という意味

ごへい＝神様が宿るところ

「代々」にカマサテ子孫の代まで繁栄することを願っている

「偕老同穴」（夫婦が仲睦まじく長生きをし、共に老いるまで連れ添うの「偕老」に「海老」の音読みがかかっている）

## question

東近江のおすすめはどこ？

永源寺ダムまでの道  
毎年紅葉を見に行きます。

平成29年の干支  
にわとりの夫婦





建物の活用について所有者と近隣の方々と一緒に、現場を見学しながら夢を語り合いました



塩倉の活用を考えるため、内部の見学をしながらみんなで構想を練ります



地域の行事「津島いさめ」で外に出られた近所の人に、塩倉に立ち寄りてもらいました。昔の道具を不思議そうに見る子どもたち、懐かしそうの方、どちらも興味津々



中野ヴィレッジハウス  
東近江市東中野町5-21  
☎0748-56-1371  
<https://www.nakanovillagehouse.com/>



大人も子どもも一緒に機かけいい道具類を出して、きれいに洗ってみました

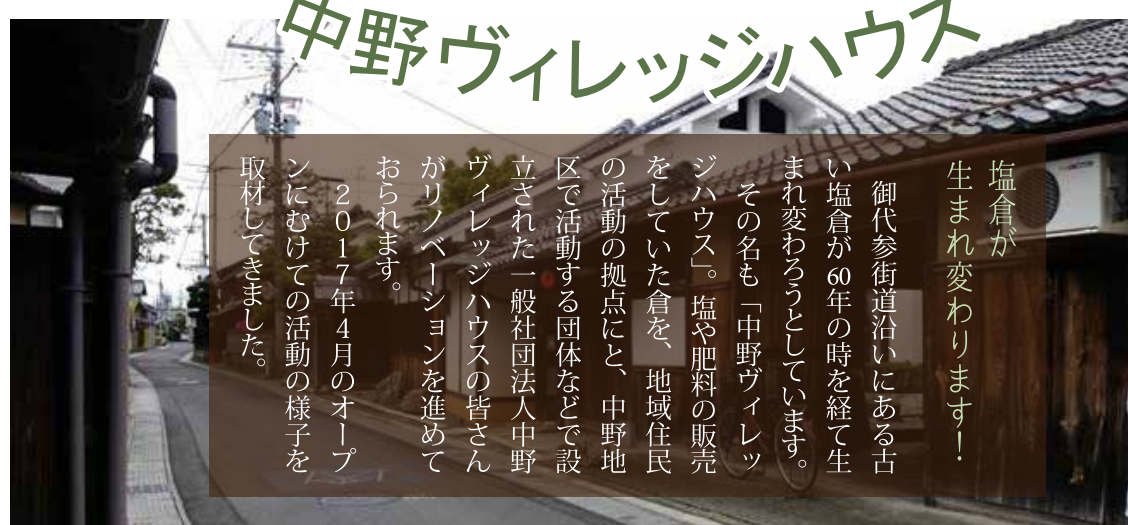


「これはどのように使っていたものか」など地域のお年寄りから話を聞きました



譲り受けた木材を倉庫に搬入。この木材を使って、塩倉で計画しているカフェのテーブルをDIYで作ったり、木工教室をするのに使ったりという夢がふくらみます

【生まれ変わる様子】



# 中野ヴィレッジハウス

塩倉が生まれ変わります！

御代参街道沿いにある古い塩倉が60年の時を経て生まれ変わろうとしています。

その名も「中野ヴィレッジハウス」。塩や肥料の販売をしていた倉を、地域住民の活動の拠点にと、中野地区で活動する団体などで設立された一般社団法人中野ヴィレッジハウスの皆さんがリノベーションを進めておられます。

2017年4月のオープンにむけての活動の様子を取材してきました。

## 【これまでの流れ】

2015年春

塩倉の持ち主と地域の住民が、今後の活用について考える場を持つ

2015年5月

有志でワークショップを開き、活用方法のアイデアを出しを行う

↓「多様な活動拠点」としての再生を図ることで一致

2015年夏

土蔵から昔の道具を出し、地域のかつての暮らしを展示

2016年8月

中野地区の有志で法人設立、活用方法をまとめる

2016年8月末

東近江市のモデル事業に応募、採用される

2016年11月

リノベーションスタート

2017年3月

工事完了。この間、DIYで掲示板、カウンター、テーブル等を手作りする

2017年4月

オープン予定



薪ストーブも設置され、素朴な空間に仕上がりました

## 【みんなで考えた案】

カフェなど若い人が気軽に来られる場所！  
御代参街道沿いという歴史や街並みを生かしては？  
若いお母さんにも集まれる場所が欲しい！



代表理事  
西川さん



「地域の高齢者、子育て中のお父さんお母さん、子どもたち、世代を越えてみんなが集まれる場所にしたいんや」と代表理事の西川さん。高齢化、空き家の増加、地域での子育てや交流の場など、中野地区でも様々な課題やニーズがあります。

「困りごとはあっても地域のみんなで集まって考えたらうまくいくこともある。人や歴史や資源をつなぐ、みんなが元気で幸せになれる場所になったらいいなあ」。西川さんたちの夢が少しずつ完成に近づいています。あなたもここで何か始めませんか？事業・チャレンジを募集中のことです！

# まちの発明王！ 彦ちゃん先生、

とみた ひこいち  
こと 富田彦一さん



電気で動くオブジェ。  
子どもたちに人気です



マリリン・モンローが描かれた風は  
外国人にとっても喜ばれるそう



地域のイベントで大活躍。風を送ると躍ります

建部の交差点のオブジェ。気になっている人も多いのでは？  
事故の注意を促すのに鏡などを置きはじめてのがきっかけ



東京オリンピックの頃からあるという自動ドア。  
はじめて来た人はびっくりですね

水墨画では造園業で培った知識で、  
木の種類や石垣を描き分けます



建部南町の交差点にある不思議な看板とロボット達。作者は東近江市の有名な、富田彦一さんです。

自宅にお邪魔すると、玄関扉が手作りの自動ドアなのにびっくり！富田さんにお聞きすると、「オリンピックの時から自動ドアやで」。1964年の東京オリンピックのことですか？50年以上前に自動ドアの玄関を持つ家が東近江にあったとは。夏には、座敷に座ると自動で天井の扇風機が回るしかけが。子どものころからラジオやモーター、玄関ベルなどを手作りしていたという富田さん。当時、玄関の自動ドアは近所の子どもたちがびびくりして何度も出たり入ったりしていたそうです。

富田さんは昭和2年生ま

れ。終戦後は軍の残した機材を使って拡声器などを製作、当時の映画館で重宝されたそうです。他にも、リヤカーにエンジンを付けた軽三輪は600台ほど製作。当時は地域中の家がその軽三輪（通称バタバタ）に乗っていたとか。

この軽三輪は市内の能登川博物館でも展示されました。

富田さんは現役時代は造園業を営んでおられました。60歳になつてから趣味で水墨画を始められました。もともと絵を描くのが好きだった富田さん。どうせ習うなら日本一の先生に習おう、と九州の先生に指導を受けた後はめきめきと才能を伸ばされ、全国区で受賞もされました。今は地域で水墨画教室をしたり、持ち前のものづくりの才能を発揮して地域のイ

ベントに参加したりとあちこちにひっぱりだこです。

90歳になつてもますます元気で大活躍の秘訣をお聞きしました。「生きがいがあるとええと人は言うけどな、大事なのはそれを人のために使う、人と共有することや」とおっしゃいます。そしてそれを実践しておられる富田さん。イキイキと話される様子は若々しく、とても90歳には見えません。これからも、地域の皆が喜ぶ楽しい仕掛けをたくさん作ってください。



タブレットも使いこなす富田さん

## question

東近江のおすすめはどこ？

「おすすめ」というのと違うけど、市民の名人芸的作品が見られる場所があればいいなあ。

まちを一望できる  
最高の眺め！



## 太郎坊宮 (阿賀神社)

## 夫婦岩

東近江市指定天然記念物

悪心のある人が通ると岩に挟まれてしまうのだとか…。

## 七福神

帰りの裏参道を、各所に鎮座した石の七福神が見守ります。

## 石段 (約740段)

## 八角燈籠

東近江市指定文化財

成願寺の石段近くにある石造灯籠は八角形をしています。朝鮮半島の工人が作ったのかもしれません。

## 成願寺

滋賀県指定文化財

(本尊の薬師如来坐像)

天台宗の開祖最澄が、太郎坊天狗のお告げを受けて799年に開いたと伝えられています。奥の院には太郎坊天狗を祀っていました。

## 二の鳥居

参道には桜並木が続きます。

## 太郎坊宮駅

太郎坊宮と、伊勢に向かう八風街道があるこの地に駅ができたのは、昭和2(1927)年。地元の人々からの要望を受け、整備されました。

## 一の鳥居

ここから太郎坊宮の参道がはじまります。

## 太郎坊宮前

至 近江八幡

太郎坊 願かけ天狗

## 太郎坊さんに 登ってみました！

秋晴れの日曜日、「太郎坊さん」の愛称でおなじみの赤神山に登りました。  
近江鉄道八日市駅から電車にガタンゴトンと揺られながら2駅。太郎坊宮前駅からは、一の鳥居とその奥にある赤神山、太郎坊宮がよく見えます。  
道中、東近江市歴史文化振興課の嶋田さんから、駅舎や街道の歴史、東近江市の地質についてなど、興味深いお話を伺いました。そして参道の石段を、えんやこらと登り、

たどりついた展望台からの景色は、本当に素晴らしいものでした。稲刈りの終わった麓の田んぼや布引丘陵、遠くには鈴鹿山脈も見えます。  
普段は、何気なく見上げていた太郎坊さん。しかし、歩いて学んで知ってみると、そこには、古くからの歴史がたくさんありました。私たちが普段見逃している景色のなかを、一度立ち止まって覗いてみませんか？新しい「発見」があるかもしれません。

## 中腹でひと息休憩

湖東流紋岩からなる赤神山は、7千万年前にあった噴火口「湖東カルデラ」の一部。マグマがなくなって火口内が沈下したあと埋まらずに残ったものが、赤神山や、湖東平野にみられる山塊や、琵琶湖の真ん中にある「沖の白石」です。これらを線で結ぶと、当時の噴火口の巨大さがよくわかります。

## 新名所！マスコットキャラの「かあろう」がいます

## 丁石地蔵

## 旧八風街道・筏川

現在は自転車道となっている旧八風街道。各所に見える丁石地蔵は、道すがら距離を示すため一町(約109m)ごとに置かれたそうです。

歴史文化振興課  
嶋田さん

至 八日市

近江鉄道 万葉あかね線

ガタンゴトン

# 東近江のことばに触れる

「私たちが、普段日常生活の中で話すことば(方言)は、いわば母語。母語とは、人が生まれて周囲の人から自然に習い覚えたことばなんです」と『ええほん』の著者の中山さんはおっしゃいます。

滋賀県内で話されることばを「近江弁」「近江ことば」などと言われることがありますが、湖北、湖東、湖南など地域によってことば遣いやイントネーションが異なります。中山さんによると、例えば同じ湖東地域でも、彦根の旧市街地では「武士ことば」や「町屋ことば」のなごりがあるのに対し、東近江は農耕が盛んで、より「庶民のことば」が使われていた。

「など、ことばの違いは地域の歴史的背景に影響を受けているようです。

また、近年では県外からの移住者が増えたり、核家族化が進んだことなどもあり、滋賀の方言の中にも、使われずに意味が伝わらなくなったことばもあります。方言は生活や文化に深くかかわりがあるものです。今一度、奥深い「方言」の世界に目を向けてはいかがでしょうか。



中山 敬一氏 プロフィール  
滋賀県彦根市出身。教員の仕事を通じ県内各地で耳にした滋賀の方言をまとめた本「ええほん 滋賀の方言手控え帖」を出版。  
(この本は市内図書館にて貸出しています)

どれだけわかるかな？

## ある兄弟の近江弁での会話

「ただいまー！お父さんは？」  
「いやはらへん」で。釣りにいかはったわ」  
「そーなん？今日はどうやろくようさん釣ってくるかなあ」  
「無理なんちやっつ」あくえら言つてもんてくるやろつ」  
「そつかもな。あれ、お母さんも一緒？」  
「いや、お母さんはごえんさんに用があるからお寺に行って、買い物してくるし」  
その間遊んでもだんないて言つてやったわ」  
「そーか、ならいいひんあいだにおやつたーべよ」



いやはらへん…おられない。不在である。「居やれぬ」が「いやーれん」となり、敬意を込めれば「いやはらへん」。ようさん…たくさん。「仰山」が柔らかく発音された形。えら(い)…湖国では「偉大である」の意よりも、「疲れた・体調不良・しんどい」の意味で用いられることが多い。もんる…帰る。戻る。ごえんさん…僧侶、お坊さんのこと。だんない…たいしたことはない。気にせずともよい。「大事ない」からの転。いいひん…いいない。不在である。県下に限らずよく使う。

(出典『ええほん 滋賀の方言手控え帖』)

## 「ガオ」の秘密

みなさんは子どものころに、「良い子にしていないと『ガオ』が来るぞー！」と言われたことはありませんか？一説では、近江日野の領主であった「蒲生氏郷」の「蒲生」がなまって「ガオ」になったと言われています。他にも説はあるようですが、中山さんは「子どもを罵る『子買お』がなまって『ガオ』になったのではないか」という説を唱えます。「彦根藩士族の歳時記」(サンライズ出版)の中にも「日が暮れてあたりが暗くなると、家々から『早く帰りなさい。帰らないと子買おが連れに来るよ』といって呼びに来るが…」という記述がありますし、昔の子守歌にも「子買おう」という言葉が登場しています。しかし、まだまだ謎だらけの「ガオ」。だからこそ、今の子どもたちにもこわい存在なのではないでしょうか。



県外で、知っている滋賀の方言を話す人に出会うと何だか嬉しくなるように、方言には人と人との距離を近づける「ぬくもり」があります。ことば自体は時代とともに変化をしても、そのことばの持つ「ぬくもり」は、しっかりと次の世代へつなげていきたいものです。

ゆるキャラの「ガオさん」。「ほない会」のメンバーにより、キャラクターとして生まれ変わりました！東近江地域のイベントに出没します。→

インド・ネパールレストラン  
タラ

Tara

インド・  
ネパール大きなナン! 食べごたえ抜群。  
テイクアウトもできます。

ネパールで働く日本人の技師との交流がきっかけで、子どもの頃から日本に興味を持っていたアノラグ・スベディさん。知人の紹介で東近江に店を開店して6年、『子どもたちと町で出会うと、『カレー屋さんの人』とか『ナン屋さんのおにいさん』と手を振ってくれるよ』と嬉しそう。

「うちはネパールとインドの美味しいところを合わせた料理。スパイスは現地から取り寄せています」とスベディさん。本格的だけど食べやすい味で、つい食べすぎてしまいます。店内は家族やカップル、高校生でいつも賑わっています。

インド・ネパールレストラン  
タラ

Tara

東近江市八日市浜野町9-18

☎0748-22-7040

10:30~22:00

## question

東近江のおすすめはどこ？

太郎坊 いつも八日市の夜景を見ながらコーヒーを飲んでいます。

韓国料理  
スラッカン  
水刺間

韓国



ボリューム満点のブルコギ定食。

スラッカン

韓国料理 水刺間

東近江市東沖野1丁目1-8

☎0748-26-4645

ランチ 11:30~14:00

ディナー 17:00~23:00

火曜定休

## question

東近江のおすすめはどこ？

八日市駅 駅や駅周辺の雰囲気が出てきます。



韓国の食品も販売。

働きもんがつくる  
地域にあるものを生かした商品チーム  
チャッカ  
TEAM CHAKKA  
の着火材

「地域にあるものをいかす」その発想から生まれたのが、TEAM CHAKKAがつくる着火材「CATCH FIRE」。TEAM CHAKKAの主要メンバーである村山英志さんは、薪ストーブ用に間伐材を薪にする仕事に携わってこられました。その薪を作る過程で生まれる木屑などを再利用し、家庭や事業所で不要になったキャンドルやろうそく、そして、もみ殻くん炭の製造途中で生まれる粉を使って作られたのがこの着火材です。

薪や着火材の製造の手伝いをしてるのは、TEAM CHAKKAの中で「働きもん」と呼ばれる若者たちです。彼らは、いろいろな理由で社会の中で職を得ることが難しい状況にありますが、「働きたい」という思いは一つ。その思いを大切にしようと、TEAM CHAKKAの活動は始まりました。働くことに真摯に向き合う彼ら「働きもん」たちは決

チーム チャッカ  
TEAM CHAKKA

東近江市妹町 70

(あいとうエコプラザ菜の花館内)

☎0749-46-8100

## question

東近江のおすすめはどこ？

愛東地域 旧大萩の四季の森  
四季折々の姿が見られます。

られた工程を丁寧に行っていきます。

TEAM CHAKKAでは「働きもん」たちが製造に携わることを通じて社会に出る自信を持ち、次の一歩を踏み出すための手助けをしています。「人とちょっと違うというだけで障害だと思ってしまうが、ちょっと見方を変えれば、個性と見えたりします」と話す村山さん。一人一人の人間を大切にすることを願い、今日もTEAM CHAKKAは活動を続けています。



仕服結び「梅」



仕服結び「二才」

## 花結びに

## 魅せられて

田中年子さん



仕服結び「蝶」



たくさん種類のある仕服結び

自宅を改装したギャラリーに足を踏み入れてまず目に飛び込んできたのが、部屋一面に飾られた美しい花結び（飾り結び）の数々。茶道具を彩るものや、干支飾り、大きな壁飾りなど、種類も大きさも様々です。

「本当はもつとたくさんあるのよ。この部屋に入らないものは二階に置いてあるの」と笑うのは、花結び作家の田中年子さん。なんと取材の前日までベルギーで展示されていて、帰国したばかりとのこと。中国、台湾、韓国などアジア諸国をはじめ、アメリカやヨーロッパ各国でも展示を行う田中さん。国内でも、滋賀はもちろん大阪や京都、東京など各地で花結びを教えておられます。

田中さんと花結びの出会い、

23歳のとき。茶道の先生が結びの研究をされていて、お話を聞くうちに魅力を感じるようになったそうです。

## 花結びの歴史

そもそも結びの歴史は古く、仏教の伝来とともに大陸から花結びが伝わった後、複雑なものへと進化します。平安時代の公家社会では調度品や服装の装飾として、多様な花結びが誕生しました。また鎌倉・室町時代の武家社会になると武具の結びをはじめ、能や狂言、華道や茶道に使われるなど、更に発展していきます。特に茶道においては、「仕服」という茶道具を入れる袋の結びが花結びになっています。戦国の乱世では茶に毒を盛られることを防ぐため、独自の



仕服結び「かぶら」

結びを作り、鍵として活用されるなど、多様な形の花結びが生まれました。

田中さんが研究してきたのもこの仕服の結びで、他に誰も研究する人がいない中、書物に残された完成図だけを見て結び方を読み解く作業は、とても根気と時間が必要だったそうです。

## 花結びの魅力



仕服結び「桜」

「でも今まで結びをしていて、疲れたなと思ったことは全然ないわ」と田中さん。細かく大変な作業のように思えますが、「不思議と、ひもを触っていると嫌な気分も晴れやかにっていくのよ」と話してくださいました。ギャラリーには作品の他、結びが描かれた掛け軸



仕服結び「菊」

ギャラリー花むすび  
東近江市川合町658  
☎0748-55-2308  
※事前に必ず電話で予約を。

## question

東近江のおすすめはどこ？

石塔寺  
静かで人気が少ないので、ゆっくりできます。



田中 年子さん

花結びの第一人者。日本結び文化学会の創設に携わり、現在は副会長。

ろん、色んなモチーフを見ては「これを一本のひもで表現するにはどうしたら？」と工夫するのが難しくもあり、何とも楽しいそうです。

花結びを始めて50年。これからも、多くの人と素敵な縁を結びながら、美しい花結びを生み出し続けていけることでしょう。



# そこら

第4号  
2017年3月31日発行

編集 / そこら編集委員会  
発行 / NPO法人 まちづくりネット東近江

〔編集協力〕  
東近江市立図書館

〔取材や編集でお世話になった方々〕  
東近江市教育委員会歴史文化振興課  
取材に協力いただいた皆様

〔お問い合わせ〕  
NPO法人 まちづくりネット東近江  
〒527-0023 滋賀県東近江市八日市緑町4-1  
☎ 0748-56-1277 E-mail: info@e-ohminet.com

〔エコツーリズムに関すること〕  
東近江市エコツーリズム推進協議会事務局（東近江市森と水政策課）  
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10-5  
☎ 0748-24-5524 E-mail: morimizu@city.higashiomi.lg.jp

本冊子は、平成28年度森里川湖つながり創生事業により作成しました

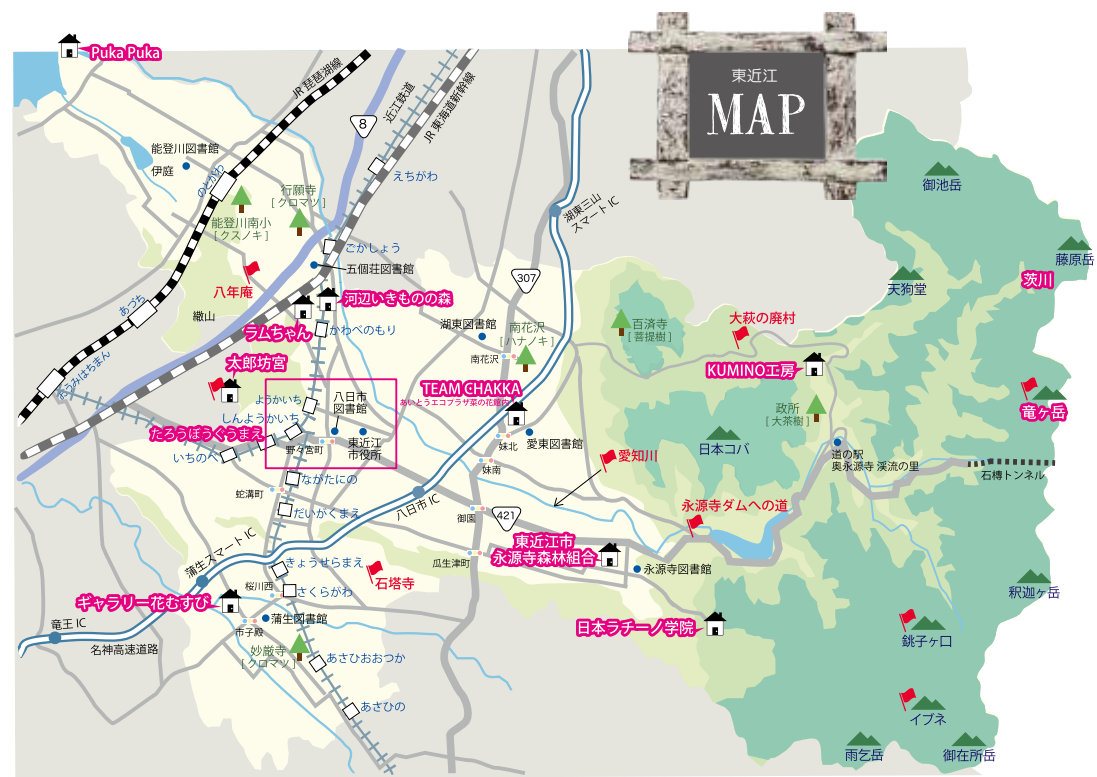


こちらからバックナンバーをお読みいただけます。  
→ <http://www.library-higashiomi-shiga.jp/>

〔編集委員〕  
狩野 桃江 栗田 豊一 齋藤 民男 嶋村 映利佳  
谷 佑一郎 庭田 恭平 藤井 盛浩 松浦 純子  
森下 瑠美 山梶 瑞穂 山口 美知子（五十音順）



この用紙は「びわ湖の森を元気にする」  
kikitoペーパーを使用しています。



紹介させていただいたお店・施設  
みなさんのおすすめスポット  
気になる木  
鈴鹿10座



編集後記  
東近江の魅力は多種多様。  
体験して初めて分かるものが  
いっぱいいます。そこの原点の  
“フィールド”へ行こう！（F）





# そこら

第4号

2017年3月31日発行

編集／そこら編集委員会

発行／NPO法人 まちづくりネット東近江